

2014年12月14日

日本学術会議主催学術フォーラム
「工学分野の参照基準とこれからの工学教育
－参照基準が工学教育の質保証に果たす役割－」参加報告

国立大学法人 群馬大学 大学院理工学府 知能機械創製部門
准教授 船津 賢人
(JSME 正員、日本工学教育協会 JSEE 会員、
知能機械創製部門 JABEE 対応小委員)

日時：2014年12月7日（日）13:30～17:00

場所：日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）

経費：運営費交付金（教員分）

1) 開会と趣旨説明 北村隆行氏

・大学の中の仕事で、ディプロマポリシーの明確化（機能）を考える際に参照基準に助けられた。

2) 第1部講演

(1) 分野別の参照基準について 北原和夫氏

・質保証システム＝基本（参照基準）＋各大学独自のもの

(2) 電気電子工学分野の参照基準案について 保立和夫氏

・工学：社会に価値を提供する。

(3) 技術者教育プログラムの認定制度と分野別の参照基準について 岸本喜久雄氏

・JABEE 474プログラム 20万人

・分野別要件 ← 参照基準を使って欲しい 参照基準は16分野ある

・エンジニア ← テクノロジスト ← テクニシヤンの定義

・工学デザイン／問題解決能力、個人およびチームワーク ← 異分野にまたがる、ダイバーシティの重要性

3) 第2部パネルディスカッション－参照基準とこれからの工学教育の質保証－

・北村氏

－工学でまとめる参照基準、共通性、足りないものは何か？（将来性、未来）評価にしか使用できないか？

・岸本氏

－大学教育の目指すもの←参照基準を利用←学生、社会とのコンセンサスが必要、グローバ

ル化—海外との議論が必要では？、共通項を求めることも必要

—大学教育を受けて職業につく（生涯学習できるような）、そして知識を高めて活躍する。
教養教育の重要性。

・有信氏

—学部教育の質は各大学が設定する→社会から評価されているか→自分達の設定の見直し
を行うフィードバックが必要

—大学が未来をつくっていく（しかない）（私見）

・JABEE：「内容」から「アウトカムズ」へ、そして「教え方も各大学で設定」へ

以上



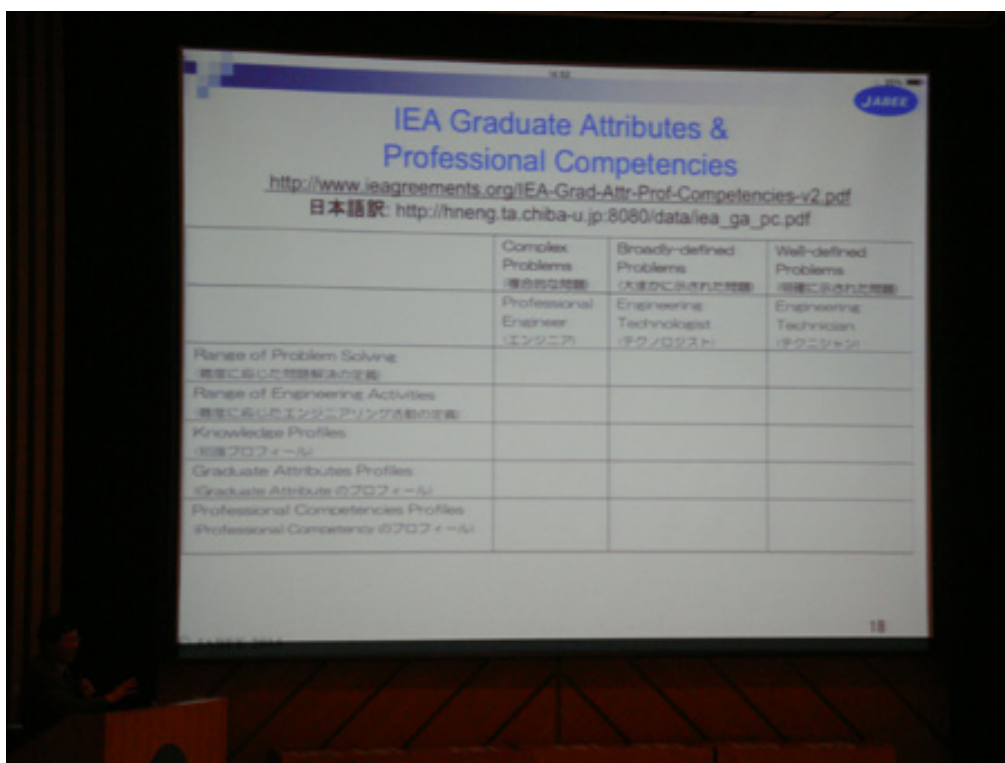
北原氏 1



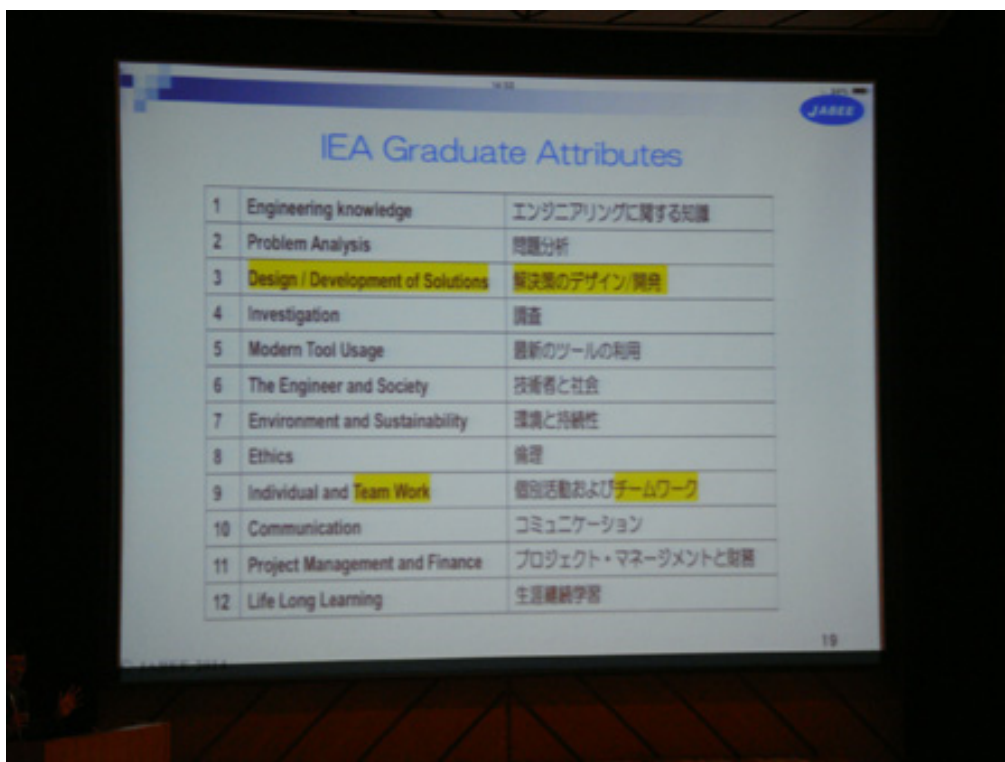
保立氏 1



保立氏 2



岸本氏 1



岸本氏 2